

水沢農業高校 部活動に関する安全対策マニュアル

1 顧問がつけないときの指導について（会議等）

- (1) アップ、基礎メニュー、ドリル等危険が低いメニューのみとする。又、機械等を扱う練習、活動は禁止とする。
- (2) 不測の事態に備え、部員、マネージャーはスマホ等常に持参し、非常時の連絡先を確認しておく。会議中は事務室に緊急連絡を入れる。

2 熱中症対策について

- (1) 「予防対策温湿度計」の判定及び暑さ指数で活動の判断をする。
- (2) 各部水分補給用のドリンクを用意し、計画的に・給水・休憩を取るように心がける。
- (3) 健康観察を行い、体調によっては活動参加を認めない。

3 冬季期間の活動について

- (1) 原則屋外での危険を伴う練習を避ける。
- (2) 転倒事故を防ぐため、凍結した通路への屋根の設置、または、凍結防止策を要望し続けることとする。

4 各部の安全対策マニュアル

(1) 陸上競技部

- ・顧問がつけない場合はネットが二重・三重に安全対策がなされたサークルのみでの投擲とし、ハンマーは絶対に投げないこととする。
- ・投てきの練習曜日・時間を決める。
- ・投擲動作に入る前に「ハンマーいきます」等、大きな声で周囲に伝え、周囲の生徒は復唱する。
- ・陸上部顧問が、グラウンド内で活動する部に伝え、この時間帯の練習は周辺に立ち入らない。
- ・陸上部トラック部門はトラックを走らない。
- ・サッカー部はボール拾いに行く場合は「入ります」と大きな声で知らせる。

(2) 馬術部

- ・騎乗するときは必ず、ヘルメット・安全ベストを着用すること。
- ・馬房からの出し入れや馬装の装着、手入れなどは必ず複数人で携わること。
- ・馬の特性を常に考慮し、馬を不安にさせない立ち位置や声かけなど注意しながら作業すること。
- ・手綱やリードロープを手に巻き付けたり、地面を引きずらせたりしないこと。
- ・学校から練習場への自転車移動は、道路交通法を守り安全運転を徹底すること。

(3) ボクシング部

- ・マスボクシング、スパーリングを行う時はヘッドギア・マウスピースを着用し必ず指導者がいる時に行う。
- ・ウェイト機器を使用する時は補助する人がいる時に行う。

(4) あぐりカルチャー部

- ・活動する前に、活動場所、活動内容を明確にしてから活動を行うこと。
- ・指導する職員が不在で活動内容を把握できない場合は、活動しないこと。

(5) 自転車競技部

○ ロード練習

- ・自転車の点検を行ってから乗車する（ヘッドライトと反射鏡を設置）
- ・乗車の時はヘルメットを必ず着用する
- ・敷地外や練習コースを走行する場合、顧問が伴走する（選手だけでコースに出ない）
- ・体調が悪いとき等コンディションが良くない場合絶対に自転車に乗らない

- ・交通ルールを守って走行する（安全確認の徹底）
- ・他人に自転車を貸さない（第三者のケガの防止のため）

○ 競技場（トラック）での練習

- ・競技場の走行ルールを守って走行する
- ・注意力が散漫なときは一旦自転車を降りて休息する
- ・競技用の自転車を整備するとき、車輪やギヤが回転していないことを確認する
- ・乗車の際ヘルメットを着用する
- ・体調が悪いとき等コンディションが良くない場合絶対に自転車に乗らない

(6) その他共通安全確認マニュアル

- ・野球部も気をつけているが、フリーバッティング練習では周囲の活動部は気をつけること。
- ・地面に危険なものを置かない。
- ・物置・部室の扉を閉め、整理整頓する。道具類は全て部室等に保管し、施錠すること。活動後の施錠を確認する。火気取り扱いは本校規定に順ずる。
- ・ヒヤリハットが起きた場合は副校長に報告し、対応策をとる。
- ・危険因子を取り除くための各部から出された要求は設置されるまで要望し続けることとする。具体的には、老朽化した「移動式防球フェンス」、「サッカー部東側の防球フェンス」「ナイター照明」設置と「メンテナンス費用」等である。

※以上のことを全職員、全生徒に徹底する。